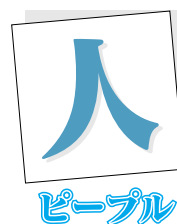


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

撮ることが何よりも好き



県写真展の第二部・ネイチャーで知事賞に選ばれた。三回目の知事賞となった作品のタイトルは「双翔」。二羽のシラサギが餌を取り合っている姿をとらえた。カラー写真だが、曇天の空をバックにストロボを同調させ

県写真展で3度目の知事賞
神久 勇さん(64)
上細井町

て撮ったため、モノクロ写真のようで格調高い作品だ。
「今年二月に写真仲間と琵琶湖北部へ撮影旅行へ行つたときの写真です。カメラを三脚に据えて、シラサギの早い動きを追いました。フィルム二、三本撮った中から選んだ一枚です」
写真を始めたのは就職してすぐ。ロッククライミングをやっていたので、山の写真を撮りたくて初月給でカメラを買った。
「でも、山で大ケガをしてしまい、本格的な登山はできなくなりました。それで写真に熱中するようになりました。休みになれば、友人たちと

撮影に行くのが楽しみで。病みつきになりましたね」
写真歴は四十年を優に超えるが、大病して五、六年間、全く撮らなかつた時期もある。その間もカメラは手離さず、毎月出る写真雑誌に目を通していた。
「健康が何よりですね。そして、つらいときもカメラ仲間が励ましてくれたから、長い間続けてこられたのだと思います。みんなに感謝しているんですよ」
写真のモチーフは幅広く、動植物や自然、祭り、人物と何でも撮る。写真が好きだから、シャッターの音がストレス解消には一番と、ほほ笑んだ。

頑張って学び

点訳付き修了証

表町一丁目・鹿沼淑子45



県立盲学校で行われた点訳の基本を学ぶ講習会に参加しました。応募の動機はさまざまですが、十四歳の中学生から七十歳の主婦まで三十人の受講生が集まりました。子どもが交流学习を通して、盲学校の生徒と友情を

深めていたこともあり、点字に以前からわたしは大変興味を持っていました。県点訳奉仕の会の皆さんが教科書の副読本や新聞などを点訳し、一日でも早く視覚障害者の手元に届けられるよう活動していることも知りました。
点字は六点の組み合わせですべてを伝えるので、文字、数字、文章表現などに細かい決まりが多くあります。三日間の実習では、時間を惜しんで真剣に学び、修了時には立派な点訳付き修了証をいただきました。一步を踏み出したばかりですが、視覚障害者の役に立てるようずっと頑張って学び続けたいと思います。

まちのNews



上川淵地区

各区対抗に 大きな声援



十月五日、天神小学校庭で上川淵地区市民運動会が開かれました。午前八時三十分、プラカードを先頭に選手が元気に入場開会式の後、朝の空気を胸いっぱい吸ってラジオ体操が行われ、広瀬小児童の鼓笛演奏が運動会ムードを盛り上げます。
各区対抗の縄跳びや綱引きが始まると大きな声援が。今回は四十回目を迎えた記念の運動会、プログラムに地域の歴史などを中心とした〇×方式のクイズが新たに加えられました。
実施委員会の須田勝会長は、「運動会を通して、地域の人の士に触れ合いが深まればいいですね」と話していました。